

2016年4月1日

2016年度入社式 社長挨拶

第一生命保険株式会社(社長:渡邊 光一郎)は、2016年4月1日(金)に入社式を行いました。
社長挨拶の主旨について、別紙の通りお知らせ致します。

2016年4月1日新入職員

グローバル職	168名
エリア職	119名
総合営業職	525名
機関経営職	74名
カスタマーコンサルタント	29名
計	915名

新創業第2ステージへの突入～グループの総力結集に向けて～

新入職員の皆さん、ご入社おめでとうございます。皆さんを心から歓迎します。

当社は、2010年4月1日、大手生命保険会社として初の株式会社化ならびに上場を果たし、私は「第一生命保険株式会社」の初代社長として「新創業」に乗り出すことを宣言しました。

「新創業」からのこの6年間は、2011年3月の東日本大震災、世界経済の低迷、そして足元では日銀によるマイナス金利政策等、当社にとって決して追い風とは言えない環境の中でありました。こうした逆風下においても、グループの総力を結集して更なる飛躍へ挑戦し続けた結果、国内外各事業分野において業績を大幅に伸展させ、グループとしての成長と業績の着実な進展を果たすことができました。これからも、価値創造経営である「DSR経営」を実践し、絶えざる成長への挑戦を続けていけば、必ずやこの先の難局も克服することができるものと確信しています。

来る2016年10月に、当社は持株会社体制へと移行し、更なる成長加速を実現させるべく、新創業第2ステージへと突入します。具体的には、国内3生保、海外6生保、内外アセットマネジメント2社において、様々な分野でのノウハウや好事例を共有し、グループ会社間での人財交流を促進することによって、シナジーを発揮させながら、成長戦略を実現するための柔軟な経営資源配分を持株会社が推進していくこととなります。先日発表した、かんぽ生命との業務提携も、新創業第2ステージにおける更なる成長実現のために欠かせない重要な戦略の一つです。

これから大きく成長される皆さんに、「プロフェッショナル&チームワーク」の大切さについてお願いしておきたいと思います。皆さんお一人おひとりが、自らを鍛え自らが立つという「自鍛自立」によって、最初の所属の業務に一刻も早く精通し、プロフェッショナルとしてのタテ糸を紡いでほしいと思います。次にチームワーク力によって自分ひとりではよりももっと大きな仕事を成し遂げるというヨコ糸を通してほしいと思います。その上で、タテ糸とヨコ糸だけの薄い布地ではなく、立体的で強く厚みのある絨緞のように、個性を発揮して創意工夫という自らのパイル糸をタテ糸とヨコ糸に結び付けてほしいと思います。皆さんが第一生命グループのさらなる変革と創造を担い、未来を築いていかれることを期待します。

私が登山をよくしていた若い頃、「霧や嵐の中、山で道に迷ったら、不安に駆られて谷を降りるのではなく、尾根を目指せ」と教えられました。この「尾根を目指す」というのは「志」の在り様を表すもので、これは会社組織も同じであると思います。逆風下にある時こそ勇気を持って尾根を進み、頂上を目指すことが大切です。2020年に当社は新創業10周年を迎えます。私たち一人ひとりが、価値創造と成長戦略を遂行するという新創業の「志」をより高く大きく持ち、新創業第2ステージにおける更なる飛躍への挑戦によって、これからも持続的成長を実現していきます。

そして、グループ内での一層のシナジー発揮に向けて、国内外のグループ各社が、共に尊重し(Respecting each other)、共に学びあい(Learning from each other)、共に成長しながら(Growing together)、グループ企業価値を向上させていくことにより、一生涯のパートナーとして、「安心の最高峰を、地域へ、世界へ」お届けする第一生命グループになるという高い「志」を胸に、邁進していきましょう。

※1 DSR (Dai-ichi's Social Responsibility) 経営とは、全社でPDCA (Plan-Do-Check-Action) サイクルを回して経営品質向上に努め、ステークホルダー (利害関係者) の皆さまへ価値を提供する、第一生命独自の価値創造経営です。